

SOK 周術期オキュラーサーフェスの会

謹啓

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
この度、下記日程にて「SOK 周術期オキュラーサーフェスの会」を開催させていただく事となりました。
ご多用の折、恐縮ではございますが、ご出席の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

謹白

日時：2025年10月17日(金) 19:30～20:40
場所：ホテルプラム横浜4F「サロン・ド・エティンセル」

企業講演

19:30～19:45

『アジマイシン点眼液1%の臨床効果』

千寿製薬株式会社

特別講演

19:45～20:30

座長：みたに眼科クリニック 院長 三谷 貴一郎先生

『術後満足度向上に役立つ マイボーム腺機能不全診療最前線』

演者：伊藤医院 眼科 副院長・LIME研究会代表
有田 玲子先生

総合討論・症例報告 20:30～20:40

～アジマイシン点眼液1% 症例報告～

北里大学医学部眼科学教室 診療教授
飯田 嘉彦先生

- ◆ 講演会終了後、情報交換会をご用意しております。
- ◆ お問い合わせ：千寿製薬 古谷(080-6577-2327)

主催：千寿製薬株式会社

「術後満足度向上に役立つ マイボーム腺機能不全診療最前線」

伊藤医院 眼科 副院長・LIME研究会代表
有田 玲子先生

【抄録】

2023年2月、日本初のマイボーム腺機能不全(MGD)診療ガイドラインが策定された。MGDは眼瞼炎や蒸発亢進型ドライアイの主要な原因であり、眼科の一般診療において最もよく遭遇する疾患の一つである。しかし、失明を伴わないため見過ごされることも多かった。それでも、長期にわたる不快感に悩む患者は少なくない。コロナ禍でのVDT(ビジュアルディスプレイ端末)使用時間の増加により、MGD患者が老若男女問わず増加しており、瞼のケアの重要性が再認識されている。

加えてMGDはここ数年、根本治療ともなりうる治療オプションが複数出現してきたため前眼部の専門家にとってはもちろん、内眼手術後のMGDが術後不満足の原因の4割を占めることが明らかになるにつれ眼科サージャンにも治療すべき疾患として国際的に注目を浴びているHOTな疾患である。

本セミナーでは、ガイドラインの解説をはじめ、アジスロマイシン点眼液の最適な使用例、患者への指導方法をはじめ、自宅でできるセルフケア(温罨法や眼瞼清拭)、マイバム圧出、さらには世界最先端の治療法を症例を交えてわかりやすく解説する。今年の3月に行った長崎県平戸市度島での第2回住民検診の話題も含め、明日からの臨床にすぐ活用できる最新情報満載のセミナーをお届けする。

◆ご略歴◆

- 1994 京都府立医科大学卒業
- 2001 京都府立医科大学大学院博士課程修了
- 2002 慶應義塾大学眼科助手
- 2005 伊藤医院眼科副院長
- 2007 東京大学眼科臨床研究員
- 2011 慶應義塾大学眼科講師(非常勤)
- 2012 LIME研究会代表
- 2021 日本角膜学会評議員 現在に至る

◆受賞歴◆

- 2008 ドライアイリサーチアワード受賞
- 2016 ドライアイ部門 最高インパクトファクター賞受賞

◆海外での活動◆

- 2009 国際ドライアイ学会(TFOS) MGDガイドライン 国際理事
- 2012 国際ドライアイ学会(TFOS)コンタクトレンズガイドライン 国際理事
- 2017 国際ドライアイ学会(TFOS)ドライアイガイドライン(DEWS II)国際理事

蒸発亢進型ドライアイ・マイボーム腺機能不全の国際的第一人者として活躍中